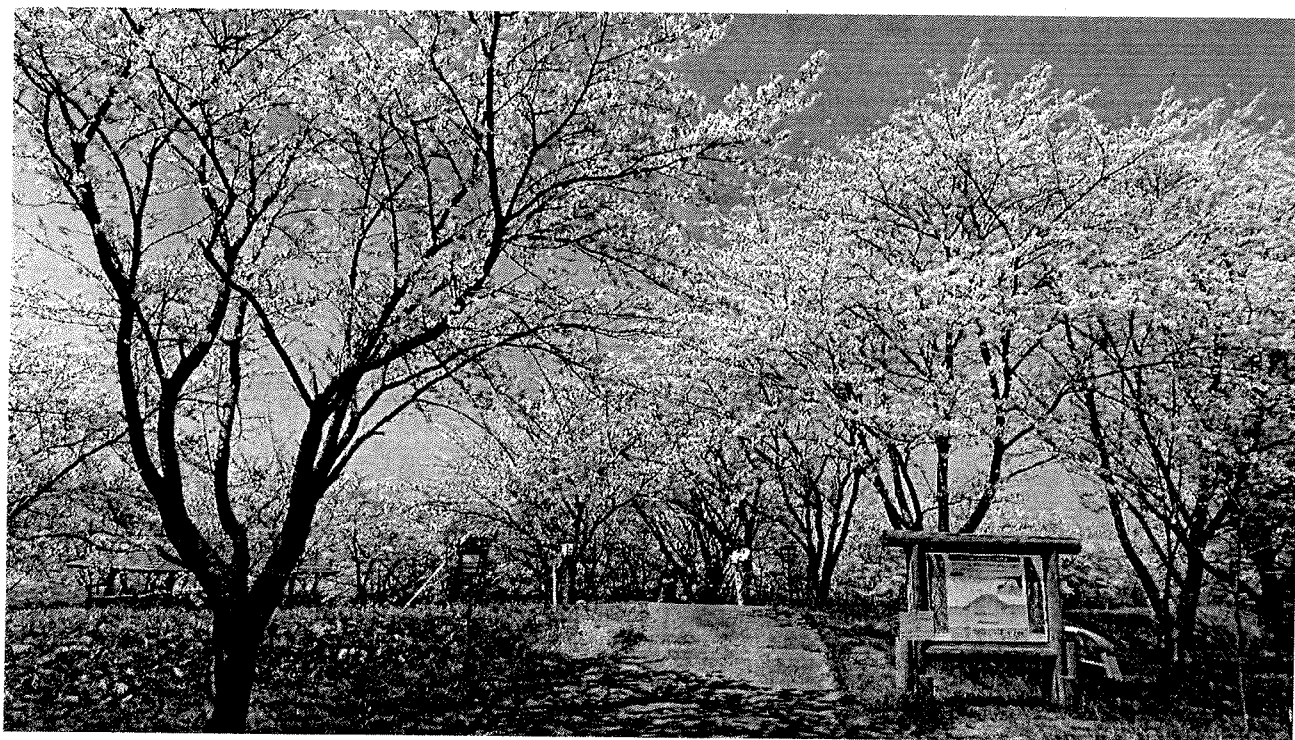


平林地域まちづくり協議会
令和2年度
通常総会資料



□ 目次

1. 議事

議第1号 令和元年度事業報告及び収支決算の承認について	・・・ 1
議第2号 令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について	・・・ 19
議第3号 平林地域まちづくり協議会役員の承認について	・・・ 23

○表紙写真の紹介

場 所 神林水辺の楽校

撮影日 2019（平成31）年4月18日

議第1号

令和元年度事業報告及び収支決算の承認について

令和元年度事業報告及び収支決算について、別紙のとおり承認を求めます。

令和2年4月1日 提出

平林地域まちづくり協議会 会長 松本 富雄

□ 令和元年度 活動報告

項目	開催日	内容	出席者	
通常総会	H31.4.12 (金)	H30年度事業報告及び収支決算、H31年度事業計画(案)及び収支予算(案)	33	
運営委員会	第1回目	R1.5.8 (水)	R1年度スケジュール、元気づくり応援事業審査、平林小学校運動会について ほか	13
	第2回目	R1.6.12 (水)	交流事業、SNSによる魅力発信、平林小学校閉校後の利活用について ほか	14
	第3回目	R1.7.10 (水)	松沢集落体験学習、交流事業詳細、平林小学校閉校後の利活用について ほか	13
	第4回目	R1.9.11 (水)	交流事業詳細、平林小学校閉校後の利活用について ほか	13
	第5回目	R1.10.2 (水)	交流事業詳細、平林小学校閉校後の利活用について ほか	12
	第6回目	R1.11.6 (水)	交流事業の反省、平林小学校閉校後の利活用、一般研修会について ほか	13
	第7回目	R1.12.8 (日)	環境整備事業の報告、SNSによる魅力発信、集落課題解決取組について ほか	14
	第8回目	R2.1.29 (水)	今年度事業評価・来年度事業計画(案)、一般研修会について ほか	18
	第9回目	R2.2.19 (水)	一般研修会、R2年度事業計画・予算(案)について ほか	14
	第10回目	R2.3.25 (水)	総会について ほか(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面議決による開催)	-
平林小学校連携打ち合わせ	H31.4.18 (木)	校長先生、教頭先生と今年度事業について打ち合わせ(会長、副会長出席)	4	
平林小学校雲山全校登山	R1.5.17 (金)	学校と連携し、山頂での〇×クイズを実施	100	
平林小学校運動会	R1.5.25 (土)	学校と連携し、まちづくり競技として1種目を運営	200	
平林城跡保存会総会及び歴史講演会	R1.6.16 (日)	平林城跡保存会総会及び歴史講演会に来賓として参加(会長出席)	55	
平林小学校区集落役員会	R1.7.27 (土)	平林小学校閉校後利活用について(会長出席)	35	
神林活性化協議会主催旧平林中学校視察	R1.9.19 (木)	平林小学校閉校後利活用検討のため旧平林中学校の現状を視察(会長出席)	20	
平林小学校区区長代表との打ち合わせ	R1.10.25 (金)	平林小学校閉校後利活用について(会長、副会長出席)	5	
松沢集落体験学習	R1.8.25 (日)	松沢集落主催の体験学習に、平林地域から参加者を募り参加	70	
神林中学校体育祭	R1.9.7 (土)	神林地区5つのまちづくり協議会が開校記念イベントに協力(会長、副会長出席)	300	
地域交流事業前日準備	R1.10.18 (金)	会場準備	8	
地域交流事業「平林小学校開校記念式典と文化祭」	R1.10.19 (土)	交流羊煮会を実施	393	
第1回 神林地区まちづくり協議会連絡会議	R1.6.11 (火)	関係人口創出・拡大事業、神林中学校開校記念事業について ほか(会長、副会長出席)	6	
第2回 神林地区まちづくり協議会連絡会議	R1.8.8 (木)	関係人口創出・拡大事業、神林中学校開校記念事業について ほか(会長、副会長出席)	8	
第3回 神林地区まちづくり協議会連絡会議	R2.1.24 (金)	学校統合における連携、関係人口創出・拡大事業について ほか(会長、副会長出席)	5	
神林地区まちづくり協議会運営委員合同会議	R2.2.2 (日)	学校統合における連携、関係人口創出・拡大事業について ほか(会長、副会長ほか出席)	35	
第1回 関係人口創出に伴うワークショップ	R1.9.28 (土)	関係人口創出・拡大のための仕組み作りを検討(会長、副会長出席)	22	
第2回 関係人口創出に伴うワークショップ	R1.12.1 (日)	関係人口創出・拡大のための仕組み作りを検討(会長出席)	24	
第3回 関係人口創出に伴うワークショップ	R1.12.18 (水)	関係人口創出・拡大のための仕組み作りを検討(会長出席)	20	
関係人口創出拡大事業「お母さんの知恵袋プロジェクト」報告会	R2.1.11 (土)	短期インターンの報告会(会長出席)	25	
第1回 人口減少に伴う村上市を考えるワークショップ	R1.10.29 (火)	人口データから読み解く村上市のこれまでとこれから(斎藤運営委員出席)	50	
第2回 人口減少に伴う村上市を考えるワークショップ	R1.11.26 (火)	将来を見据えワガコトとして取り組むべきこと(斎藤運営委員出席)	50	
荒川のごみのポイ捨てを減らす取組	R1.11.22 (金)	羽越河川国道事務所へ申し入れ(会長出席)	2	
荒川のごみのポイ捨てを減らす取組	R1.11.29 (金)	荒川漁協へ申し入れ(会長出席)	3	
神林地区内各種団体懇談会	R2.2.21 (金)	神林地区公民館主催(会長出席)	49	
一般研修会	R2.3.1 (日)	グループワーク「地域の課題解決を図るため」ほか(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止)	-	
第1回 かみはやし互近所ささえ隊会議	R1.5.9 (木)	昨年度事業の検証、今年度の事業(案)について ほか(会長出席)	13	
第2回 かみはやし互近所ささえ隊会議	R1.7.10 (水)	「ささえあいカタログ」の作成について ほか(会長出席)	13	
第3回 かみはやし互近所ささえ隊会議	R1.11.13 (水)	「ささえあいカタログ」(案)について ほか(会長出席)	12	
第4回 かみはやし互近所ささえ隊会議	R2.2.13 (木)	今年度事業のふりかえり、来年度事業計画について ほか(会長出席)	15	
村上市生活ささえ愛隊長・互近所ささえ隊合同研修会	R2.2.17 (月)	今年度の活動報告、来年度の取組について ほか(会長出席)	60	
広報	R1.6.1	まちづくり新聞平林地域版第17号発行		
	R2.3.13	まちづくり新聞神林地区版第11号発行		
	随時	ホームページ、Facebookページの更新		

□ 平林小学校要害山登山



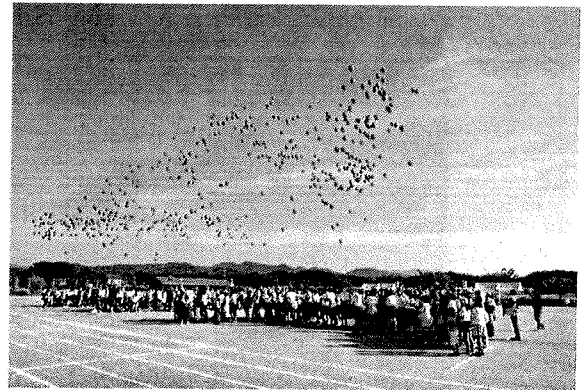
□ 平林小学校運動会



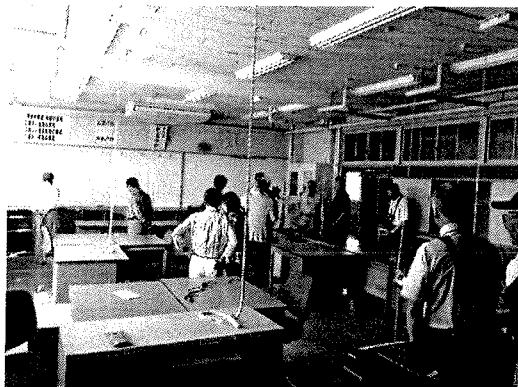
□ 松沢集落体験学習



□ 神林中学校体育祭



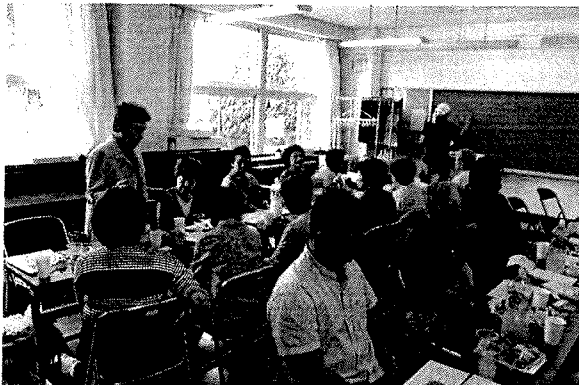
□ 神林活性化協議会主催旧平林中学校視察



□ 平林小学校閉校記念式典と文化祭(交流芋煮会)



□ 集落課題解決取組(宿田集落
平林小学校閉校後利活用検討)



□ 関係人口創出に伴うワークショップ



□ 集落活動支援事業 報告

集 落	松 沢	事業名	里山の植物を活用した新商品の開発	
実施日・期間	6月16日～11月23日		参加者数	223 人
総事業経費	81,880円		交付金額	70,950 円
事業内容	里山の拡大(P1)と「ふうぼう餅」の作成。また、昨年同様「マエモ」及び「棒注連(P2)」作りを行った。因みに、「ふうぼう餅」の表紙(P3)はドローンで撮影した写真を活用した。			
事業効果	区内の植物「ツバキ・チマキザサ・ナツメ・カワラケツメイ」を使い「ふうぼう餅」作りに挑戦したことで、「マエモ」や「棒注連」に対する理解が深まったようだ。また、猿や熊の出没が相次いでいることから、里山の拡大の大事さが区民に浸透してきている。			

P1



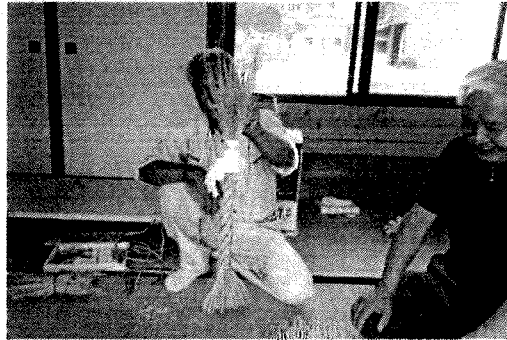
P2-1



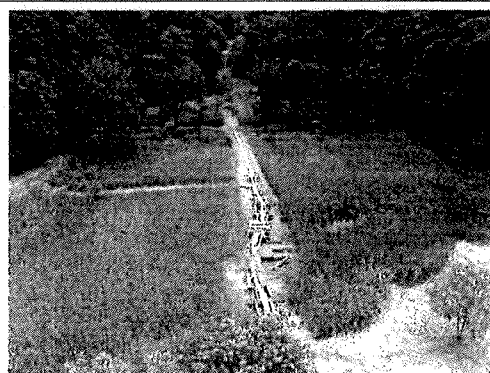
P2-2



P2-3



P3



バインバレー湿原

ふうぼう餅

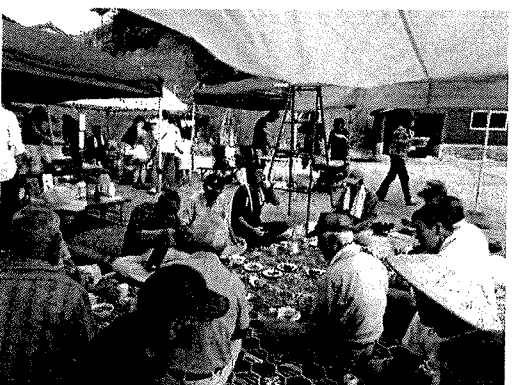
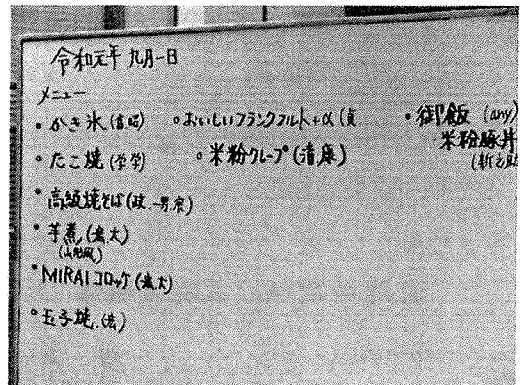
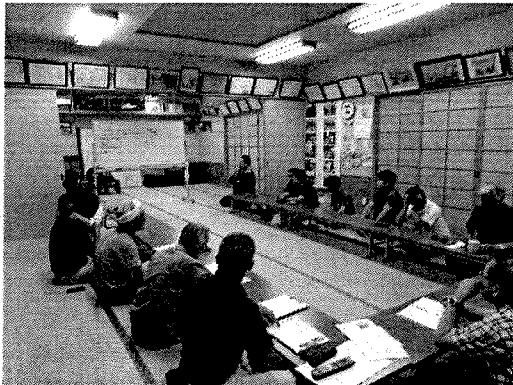
松沢区では平林地域まちづくり協議会支援事業助成金を活用し、松沢の有用植物を利用し滋養強壮及び脾臓・肺臓を整えて風邪予防効果が期待できる『ふうぼう餅』を作り上げました。じっくり噛みしめて、喉に詰まらせないようにご賞味下さい。

協力金はバインバレー湿原(区内旧境跡)周辺植物・鳥・水棲動物の調査や整備のために活用いたします。
バインバレー湿原は散策しやすいようにしております。
健康寿命延伸の一助として活用して戴けたら幸いです。

原料：糯米・椿・蕨・粽笹・河原決明・幸運持塩 数量：8個入り

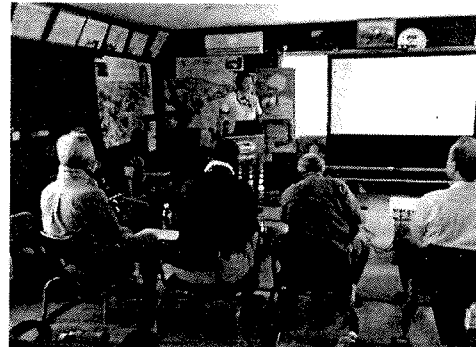
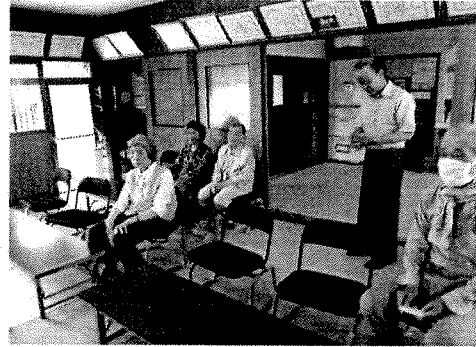
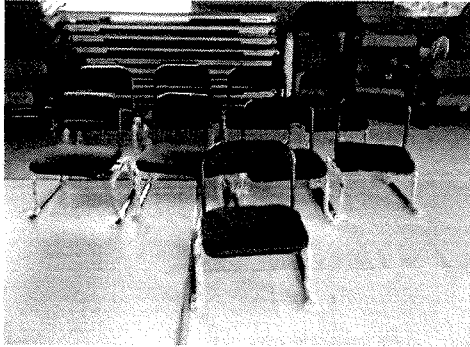
□ 集落活動支援事業 報告

集 落	小岩内	事業名	避難訓練及び収穫祈願祭	
実施日・期間	9月1日	参加者数	78	人
総事業経費	178,866円	交付金額	36,400	円
事業内容	今年は防災の日に合わせて防災訓練を実施して、その後収穫祈願祭を行った。			
事業効果	集落に住んでいない出身者も参加するなど、毎年たくさんの方が集まり、親睦を深める場になっている。			



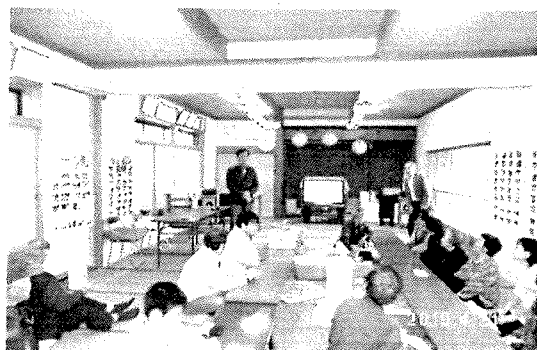
□ 集落活動支援事業 報告

集 落	川 部	事業名	高座椅子購入	
実施日・期間	通年		参加者数	700 人
総事業経費	34,020円		交付金額	34,020 円
事業内容	集会所に高座椅子を9台購入し、会議やいこいの茶の間、昔の映画を観る会、老人クラブの集まりなどに利用する。(平成29年度からの継続事業)			
事業効果	高齢化の進展に伴い、足腰の悪い人が急速に増えており、その人たちが長時間座っていることが困難であったが、気兼ねなく集会所に集まることが可能となった。			



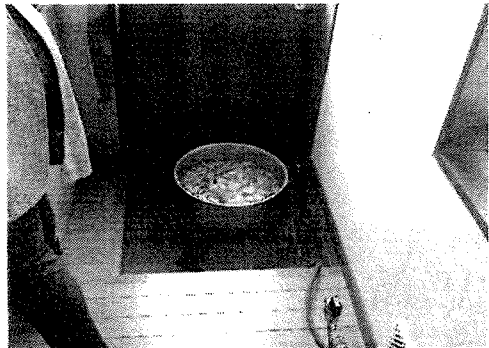
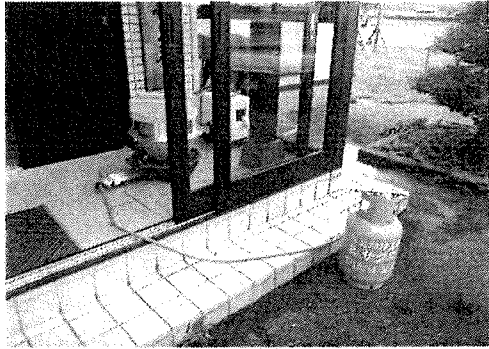
□ 集落活動支援事業 報告

集 落	湯ノ沢	事業名	観桜会・カラオケ大会	
実施日・期間	4月21日	参加者数	38	人
総事業経費	39,709円	交付金額	39,709	円
事業内容	各団体より実行委員を招集して、準備会議を行い役割分担を決め、会場の飾りつけや買い出しを行い、当日はトン汁を作り、観桜会とカラオケ大会を行い親睦を深めた。			
事業効果	普段は世代間の交流はほとんどないが、桜を鑑賞し、カラオケを楽しむことにより、交流が図られて集落の絆を深めることができた。			



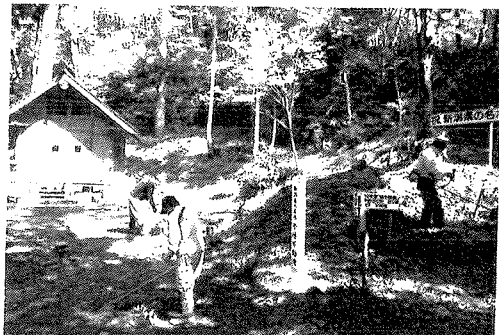
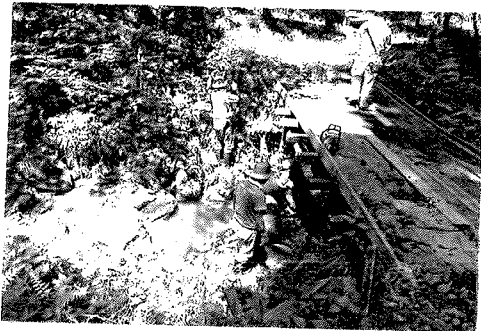
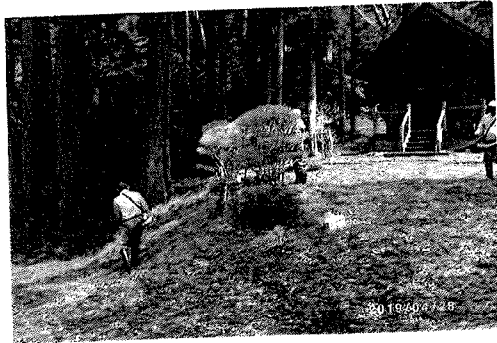
□ 集落活動支援事業 報告

集 落	葛籠山	事業名	集落防災訓練、炊き出し訓練	
実施日・期間	10月19日		参加者数	86 人
総事業経費	36,400円		交付金額	36,400 円
事業内容	平林地域交流芋煮会開催時に、ガスコンロと釜により炊き出し訓練を行い、おにぎりとして参加者に配り、防災意識の向上を図った。 また、避難者増に備え、ガスコンロを購入した。			
事業効果	災害時の必要器材と炊飯手順を参加者で共有し確認できた。			



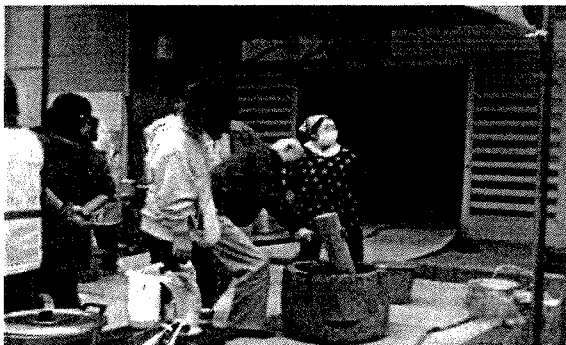
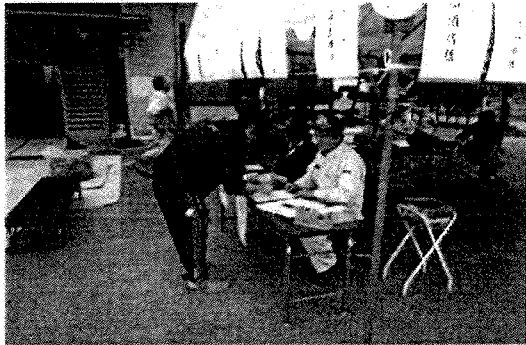
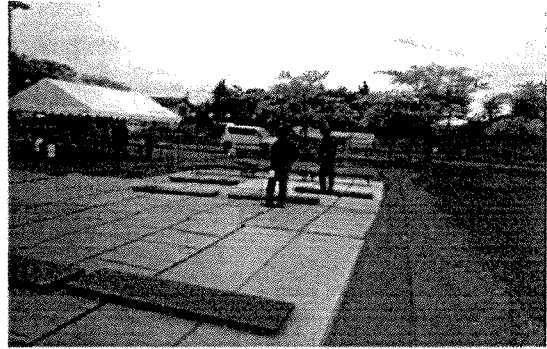
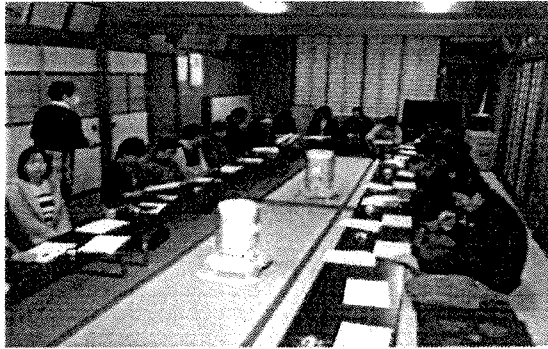
□ 集落活動支援事業 報告

集 落	平林	事業名	集落史跡整備事業	
実施日・期間	4月1日～11月16日		参加者数	93 人
総事業経費	99,738円		交付金額	84,300 円
事業内容	遊歩道・山道の整備と波滝・お不動様・セト坂湧水周辺の整備を行った。			
事業効果	遊歩道・山道の整備により、毎年お不動様に足を運んでくれる人が増えている。			



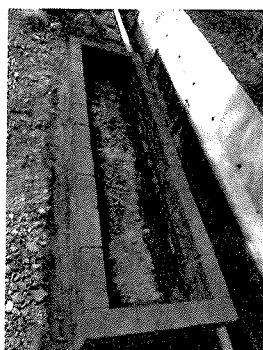
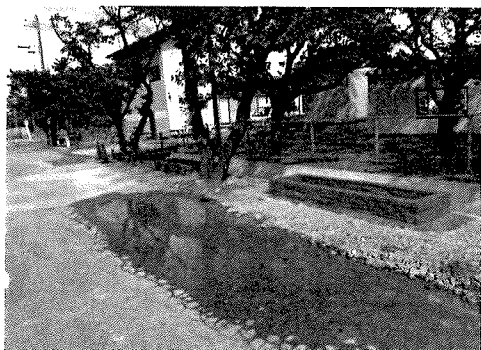
□ 集落活動支援事業 報告

集 落	宿 田	事業名	観桜会	
実施日・期間	4月21日		参加者数	133 人
総事業経費	63,707円		交付金額	50,900 円
事業内容	集落内の各種団体に協力していただき、事前準備の段階から交流を深めた。内容は、焼肉や焼きそばを作って歓談し、子供達とゲーム等を楽しんだ。今年は、もちつき、そうめん流し、綿あめ、金魚すくいを実施した。			
事業効果	観桜会を通じて、集落の活性化と住民(子供から大人まで)の交流と連帯意識が深まった。			



□ 集落活動支援事業 報告

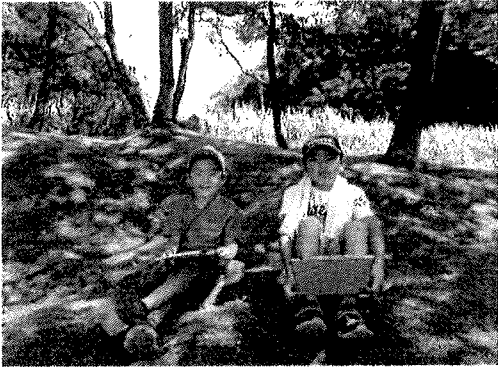
集 落	宿 田	事業名	花いっぱい運動(花壇製作)	
実施日・期間	7月7日		参加者数	63 人
総事業経費	115,380円		交付金額	30,000 円
事業内容	「宿田ふれあいセンター」脇の水路沿いに、レンガブロックを積み上げて花壇3基を設置した。大勢の住民に参加していただき、特に、子どもたちにとっては日頃経験したことのない作業であり、興味を持って取り組んでもらった。			
事業効果	地域の環境整備と美化が図られた。また、従来のプランター設置と比較して灌水作業の省力化と、水路沿いに設置したことによる転落防止等の効果も期待できる。			



□ 元気づくり応援事業 報告

集 落	松 沢	事業名	パインバレー湿原観光化事業	
実施日・期間	5月26日～11月10日		参加者数	168 人
総事業経費	126,470円		交付金額	100,000 円
事業内容	パンフレット用にドローンでの撮影や苔エリアの設置(P1)、また桜の手入れなどを行った。恒例の植物調査(P2)と水棲動物調査(P3)そして本年から野鳥の調査(P4)も行うことができた。			
事業効果	「学ぶ」をテーマに子供と保護者を対象に植物・野鳥観察と水棲動物の採取観察についての2回体験学習を行った。おかげで区民の散策者が見えるようになった。			

P1



P2-1



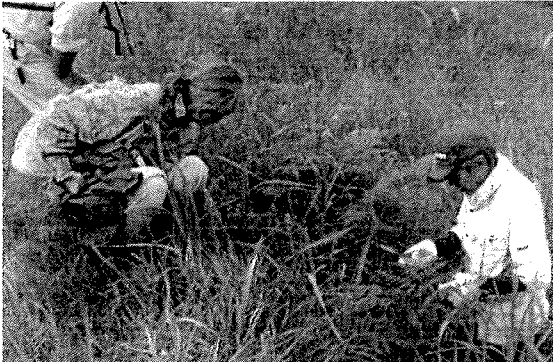
P2-2



P3-1



P3-2



P3-3



P4-1



P4-2



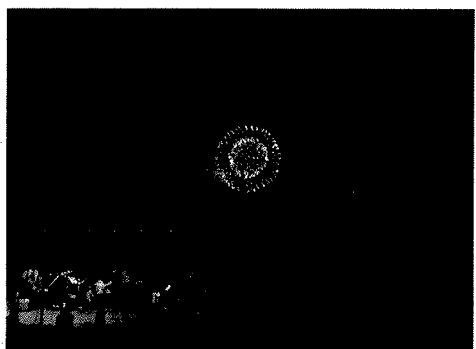
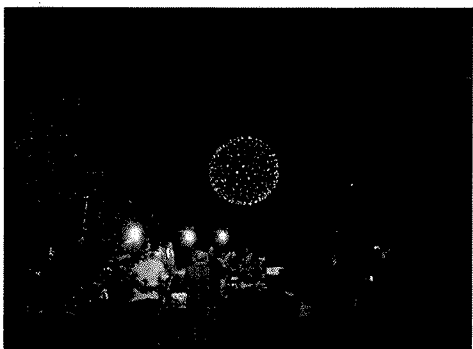
□ 元気づくり応援事業 報告

集 落	湯ノ沢	事業名	集落運動会	
実施日・期間	5月11日～9月8日		参加者数	64 人
総事業経費	76,158円		交付金額	76,158 円
事業内容	年三回のグラウンド整備(草取り)、打ち合わせ会議、プログラム作成、景品の買い出しを行い、今年で42回目となる運動会を盛大に行った。			
事業効果	運動会を通じて、老若男女、世代間の交流を図り、親睦、絆を深めることができた。			



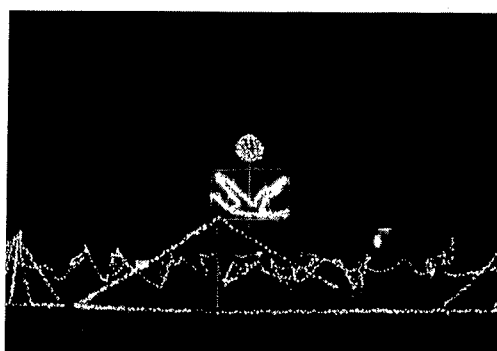
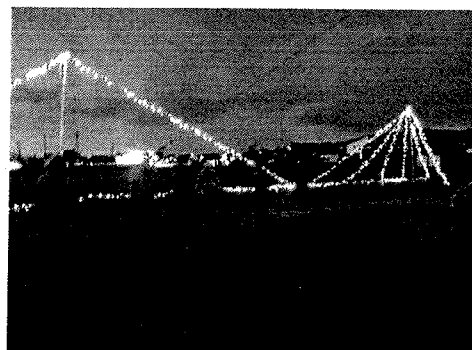
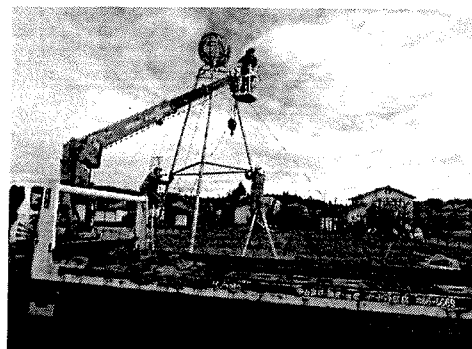
□ 元気づくり応援事業 報告

集 落	葛籠山	事業名	集落住民交流事業	
実施日・期間	8月3日		参加者数	106 人
総事業経費	61,250円		交付金額	50,000 円
事業内容	荒川花火を観ながらの区・消防団が中心となったバーベキューや、小学校PTAによる魚釣りなどのアトラクション、折りたたみ式椅子を活用した年代を超えた集落交流を行った。			
事業効果	区が中心となって計画し、小学校PTAや消防団などの各種団体の協力により、幼児からおじいちゃんおばあちゃんまで、年代を超えた交流が図られた。			



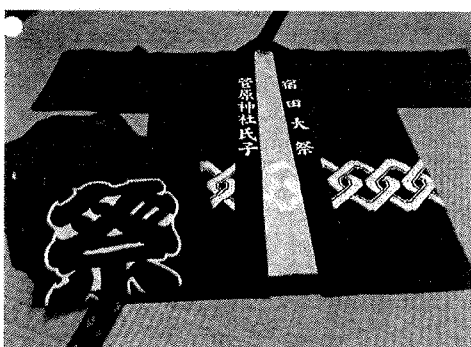
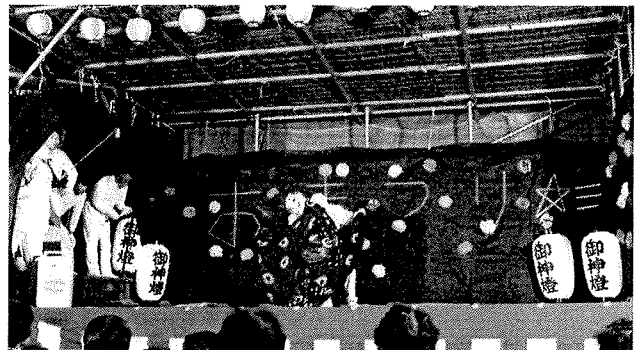
□ 元気づくり応援事業 報告

集 落	平 林	事業名	イルミネーション事業	
実施日・期間	11月24日～1月11日		参加者数	76 人
総事業経費	95,032円		交付金額	95,032 円
事業内容	集落センターで約5,000球もの電球を使用し「鶴」の絵を作製し、国道7号線脇農村公園に全長8mもの竹3本を組み、ユニック車を使用し巨大なツリーを立て、周辺には単管を組み電球を飾りつけ点灯した。			
事業効果	この作製や飾りつけを、区の役員をはじめ、PTAなどの各種団体が協力して行うことで、集落の若い世代から年配世代までの交流・親睦を図ると共に、集落の結束力を内外にアピールした。			



□ 元気づくり応援事業 報告

集 落	宿 田	事業名	伝統文化継承事業	
実施日・期間	7月23日～11月23日		参加者数	180 人
総事業経費	107,220円		交付金額	100,000 円
事業内容	「お祭り運営会」を運営主体として、集落内の家内安全、豊作を願い、伝統ある「宿田神楽」を末永く継承していく事業として実施しており、今年度は、約40日間にわたる練習期間と、本番当日の宿田大祭で練習成果を披露した。また、「神林芸能祭り」でもその雄姿を披露した。			
事業効果	伝統ある「獅子舞」「剣舞」「おぼこ踊り」を次の世代に継承するため、その練習を通して子供たちに伝えていくと同時に、集落内の一体化を図り、地域の活性化を進めていくうえで大きな効果を発揮した。			



令和元年度 平林地域まちづくり協議会 収支決算書

収入

(単位:円)

区 分	当初予算額	補正額	補正後予算額	決算額	比 較	説 明
1 地域まちづくり交付金	1,635,000	0	1,635,000	1,635,000	0	地域まちづくり交付金
2 繰越金	259,474	0	259,474	259,474	0	前年度繰越金
3 諸収入	526	0	526	6	▲ 520	利息等
合 計	1,895,000	0	1,895,000	1,894,480	▲ 520	

支出

区 分	当初予算額	流用額	流用後予算額	決算額	比 較	説 明
1 地域振興費	350,000	0	350,000	315,961	34,039	
1 地域交流事業	350,000	0	350,000	315,961	34,039	地域交流イベント(芋煮会経費、バスレンタル等)
2 研修費	70,000	0	70,000	46,909	23,091	
1 研修事業	70,000	0	70,000	46,909	23,091	研修旅費: 平林城跡保存会総会・講演会(1,000円) 平林地区区長会(1,000円) 神林地域活性化協議会主催研修会(1,000円) 村上地域振興局主催ワークショップ(2,000円) 平林小学校閉校後利活用会談(2,000円) 関係人口創出拡大ワークショップ(8,600円) 5地域合同研修会(12,000円) 一般研修会:消耗品(876円) 話し合いの場づくり:集落課題解決取組(18,433円)
3 地域コミュニティ支援経費	874,000	0	874,000	802,869	71,131	
1 集落活動支援事業	390,000	0	390,000	381,679	8,321	各集落の事業を支援
2 元気づくり応援事業	484,000	0	484,000	421,190	62,810	手上げ方式による支援事業
4 安全安心な暮らし対策事業	80,000	2,147	82,147	82,147	0	
1 安全安心な暮らし対策事業	80,000	2,147	82,147	82,147	0	学校等との連携:平林小学校要害山登山(6,825円)、平林小学校運動会(45,322円)、神林中学校開校記念体育祭(30,000円)
5 健康・福祉増進経費	10,000	0	10,000	4,070	5,930	
1 ささえあいの地域づくり事業	10,000	0	10,000	4,070	5,930	ささえあいカタログ(4,070円)、敬老会参画
6 環境保全・改善経費	10,000	0	10,000	0	10,000	
1 環境整備事業	10,000	0	10,000	0	10,000	
7 組織運営経費	483,000	0	483,000	434,851	48,149	
1 役員報償費	262,000	0	262,000	262,000	0	会長 32,000円×1 副会長 22,000円×1 運営委員 17,000円×12 監事 2,000円×2 計 262,000円
2 費用弁償	0	0	0	0	0	
3 会議費	30,000	0	30,000	27,713	2,287	会場借り上げ料1,500×10回=15,000円 お茶代等
4 消耗品費	35,000	0	35,000	17,745	17,255	コピー用紙、事務用品等
5 印刷製本費	80,000	0	80,000	63,364	16,636	まちづくり新聞
6 口座振替手数料	6,000	0	6,000	1,810	4,190	口座振替手数料
7 郵便料	70,000	0	70,000	62,219	7,781	郵便料
8 予備費	18,000	▲ 2,147	15,853	0	15,853	
合 計	1,895,000	0	1,895,000	1,686,807	208,193	

収入額合計 支出額合計 次年度繰越額
1,894,480 1,686,807 = 207,673

令和元年度 監査報告

平林地域まちづくり協議会の令和元年度事業報告書及び収支決算書について、通帳、出納簿並びに関係書類を監査し結果、適正に処理、記載されていると認める。

以上

令和2年4月1日

監事

矢田 勤



監事

杉上 春雄



議第2号

令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について

令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）について、別紙案により承認を求めます。

令和2年4月1日 提出

平林地域まちづくり協議会 会長 松本 富雄

令和2年度事業計画

区分	事業名、取組項目	実施時期	対象	取組内容	備考
1 地域課題の解決、地域及び住民交流	(1) 地域交流事業				
	交流事業の実施	4月～11月	全世帯	地域内の親睦と交流を図るため、交流事業を実施する。	
	(2) 地域の課題解決のための基盤整備と人材育成				
	まちづくり研修会の実施	通年	全住民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を対象とした研修会や視察研修などを開催し、まちづくり活動のあり方や取り組みを学ぶ。 ・地域の課題解決や活性化に向けた話し合いの場づくりに取り組む。 	
	(3) 地域コミュニティ支援事業				
	地域コミュニティを支援する	通年	集落	集落の課題解決や活性化を図ることを目的として、集落事業に対して支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・松沢事業から生まれた物産紹介事業 ・小岩内収穫祈願祭 ・川部掃除機購入、集落防災訓練 ・湯ノ沢観桜会・カラオケ大会、座椅子・カセットコンロの整備 ・葛籠山集落防災訓練、炊き出し訓練 ・平林史跡整備事業 ・宿田観桜会、花壇の設置 	松沢 小岩内 川部 湯ノ沢 葛籠山 平林 宿田
集落			地域の課題解決や活性化に意欲的な取り組みをする集落の活動に対し、手上げ方式により支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・松沢パインバレー湿原観光化事業 ・川部集落交流会 ・湯ノ沢集落運動会 ・葛籠山集落住民交流事業 ・平林イルミネーション事業 ・宿田伝統文化継承事業 	松沢 川部 湯ノ沢 葛籠山 平林 宿田	

区分	事業名、取組項目	実施時期	対象	取組内容	備考
1 地域の課題解決、地域振興及び住民交流	(4) 安全安心なくらし対策事業				
	安全安心な暮らし対策事業	通年	全住民	安心安全に暮らしていくために高齢者や子供を守る防犯活動や災害時における避難対応について、老人クラブ、学校、PTA、自主防災組織等と連携して活動に取り組む。また、避難所として旧平林小学校跡地の利活用を図る。	
		5月1日、5月30日	全住民	新平林小学校と連携して、遠足、運動会を行う。	
		通年	全住民	コミュニティスクールを通し神林中学校への協力を行う。	
2 健康及び福祉の増進	(1) ささえあいの地域づくり事業				
	ささえあいの地域づくり事業	通年	全住民	神林地区生活支援協議体※等と連携して、支え合いの地域づくりを推進する。※神林地区生活支援協議体とは、高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう支援する仕組みづくりを目的とした組織。	
6月20日		75歳以上	敬老会事業に対し、人的支援を行う。	主催：実行委員会	
3 環境の保全及び改善	(1) 環境整備事業				
	環境整備事業	通年	全住民	荒川クリーン作戦や集落単位での環境整備に取り組み、ごみのポイ捨てを減らす取り組みも行う。	
			全住民	新たな魅力を探し活用するため地域資源宝の発掘に取り組み、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)等を活用し広く発信する。	
全住民			神林地域活性化協議会等と連携し、道の駅神林を拠点に関係人口(むらかみファン)創出・拡大事業に取り組む。		

令和2年度 平林地域まちづくり協議会 収支予算

収入

(単位:円)

区 分	本年度	前年度	比 較	説 明
1 地域まちづくり交付金	1,633,000	1,635,000	▲ 2,000	地域まちづくり交付金
2 繰越金	207,673	259,474	▲ 51,801	前年度繰越金
3 諸収入	327	526	▲ 199	利息等
合 計	1,841,000	1,895,000	▲ 54,000	

支出

区 分	本年度	前年度	比 較	説 明
1 地域振興費	300,000	350,000	▲ 50,000	
1 地域交流事業	300,000	350,000	▲ 50,000	地域交流イベント
2 研修費	70,000	70,000	0	
1 研修事業	70,000	70,000	0	研修視察、一般研修、課題解決に向けた話し合いの場づくり、5地域まち協合同研修会
3 地域コミュニティ支援経費	860,000	874,000	▲ 14,000	
1 集落活動支援事業	335,000	390,000	▲ 55,000	各集落の事業を支援
2 元気づくり応援事業	525,000	484,000	41,000	手上げ方式による支援事業
4 安全安心な暮らし対策事業	50,000	80,000	▲ 30,000	
1 安全安心な暮らし対策事業	50,000	80,000	▲ 30,000	学校等との連携
5 健康・福祉増進経費	10,000	10,000	0	
1 ささえあいの地域づくり事業	10,000	10,000	0	ささえあいの地域づくり、敬老会参画
6 環境保全・改善経費	60,000	10,000	50,000	
1 環境整備事業	60,000	10,000	50,000	地域資源の発掘、荒川クリーン作戦、関係人口(むらかみファン)創出・拡大
7 組織運営経費	474,000	483,000	▲ 9,000	
1 役員報償費	262,000	262,000	0	会長 32,000円×1 副会長 22,000円×1 運営委員 17,000円×12 監事 2,000円×2 計 262,000円
2 費用弁償	20,000	0	20,000	費用弁償1,000円×20人
3 会議費	30,000	30,000	0	会場借上料1,500円×10回、お茶代等
4 消耗品費	35,000	35,000	0	コピー用紙、封筒、事務用品等
5 印刷製本費	65,000	80,000	▲ 15,000	まちづくり新聞
6 口座振替手数料	2,000	6,000	▲ 4,000	口座振替手数料
7 郵便料	60,000	70,000	▲ 10,000	郵便料
8 予備費	17,000	18,000	▲ 1,000	
合 計	1,841,000	1,895,000	▲ 54,000	

※ 区分の予算支出に不足が生じた場合は、他の区分から流用することができるものとする。

平林地域まちづくり協議会役員承認について

平林地域まちづくり協議会役員選出について、次のとおり承認を求めます。

令和2年4月1日 提出

平林地域まちづくり協議会 会長 松本 富雄

(敬称略)

役 職	新任者	前任者
会 長	小池 利也	松本 富雄
副 会 長	木村 竜也	木村 竜也
監 事	木村 清美	杉上 春雄
監 事	佐藤 知江	矢田 勤

□ 平林地域まちづくり協議会 役員運営委員名簿

(敬称略)

役職	氏名	集落	備考
運営委員	佐藤 昌彦	松 沢	
運営委員	阿部 一	松 沢	
運営委員	高野 金一	小岩内	新任
運営委員	松本 富雄	小岩内	
運営委員	佐藤 慎吾	川 部	新任
運営委員	佐藤 和栄	川 部	新任
運営委員	小池 利也	湯ノ沢	
運営委員	小池 正則	湯ノ沢	
運営委員	矢田 健	葛籠山	新任
運営委員	安斎 徹	葛籠山	新任
運営委員	木村 竜也	平 林	
運営委員	木村 喜美男	平 林	新任
運営委員	遠山 富夫	宿 田	新任
運営委員	遠山 佳秀	宿 田	

□ 平林地域まちづくり協議会 代議員名簿

(敬称略)

	氏名	集落	備考
1	佐藤 巧	松 沢	区長
2	横山 めぐ美	松 沢	
3	南間 文子	松 沢	
4	高野 静雄	小岩内	区長
5	高野 紀子	小岩内	
6	松本 由美子	小岩内	
7	佐藤 剛	川 部	区長
8	佐藤 栄一	川 部	
9	加藤 由起子	川 部	
10	小池 信義	湯ノ沢	区長
11	佐藤 昌美	湯ノ沢	
12	小池 美保	湯ノ沢	
13	矢田 勤	葛籠山	区長
14	齋藤 正樹	葛籠山	
15	齋藤 美幸	葛籠山	
16	武者 秀雄	平 林	区長
17	木村 清美	平 林	
18	佐藤 知江	平 林	
19	遠山 久夫	宿 田	区長
20	遠山 順子	宿 田	
21	遠山 さち子	宿 田	

平林地域まちづくり協議会規約

平成24年3月13日制定

平成25年4月12日改正

(目的)

第1条 本会は、平林地域の豊かな自然環境や文化を未来への贈り物とし、この地に暮らす人々それぞれの良さを活かし、お互い知恵を出し合い、協力し合って、活気と魅力あふれる地域を目指し活動することを目的とする。

(名称)

第2条 本会は、平林地域まちづくり協議会と称する。

(事務所)

第3条 本会の主たる事務所は、神林支所地域振興課自治振興室(村上市岩船駅前56番地)に置く。

(事業)

第4条 本会は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 地域の課題解決、地域振興及び住民交流に関すること。
- (2) 健康及び福祉の増進に関すること。
- (3) 安全及び安心に関すること。
- (4) 環境の保全及び改善に関すること。
- (5) 地域資源の有効活用に関すること。
- (6) 地域の産業振興に関すること。
- (7) コミュニティビジネス等地域経営に関すること。
- (8) その他、まちづくりに関し、特に必要なこと。

(構成)

第5条 本会は、平林地域に居住する人及び平林地域で事業を行う個人若しくは法人、又は平林地域で活動する各種団体をもって構成する。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監事 2名

2 会長、副会長は、運営委員会において委員の互選により選出し、総会の承認を得る。

3 監事は、運営委員会において代議員の中から選出し、総会の承認を得る。

(役員職務)

第7条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故その他やむをえない事情により職務を遂行できないときは、その職務を代行する。

3 監事は、本会の事業及び会計の執行状況を監査し、総会に報告する。

4 必要に応じて、その他の役員を置くことができる。

(役員任期)

第8条 役員任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 補欠により選出された役員任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、任期終了後においても後任者が就任するまでの間は、その職務を行うものとする。

(報償費及び費用弁償)

第9条 役員等に対し、報償費及び費用弁償を支払うものとする。

(運営委員)

第10条 運営委員は、平林地域の居住者で、別表により各集落から選出された14名とする。

2 運営委員は、運営委員会において総会に付議する事項及び本会の運営に関することを審議する。

3 運営委員任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

4 補欠により選出された運営委員任期は、前任者の残任期間とする。

5 運営委員は、代議員を兼務することができない。

(代議員)

第11条 代議員は、次により選出する。

(1) 平林地域を構成する集落区長。ただし、集落区長が第10条に定める運営委員に選出された場合は、その代理者とする。

(2) 平林地域の居住者で、別表により集落推薦を受けた者とする。

(3) 本会の趣旨に賛同し、その活動に参画する者で、運営委員会の承認を受けた者とする。

2 代議員は、総会において運営委員会が提案する議題を審議し、議決する。

3 代議員任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

4 代議員に欠員が生じた場合の補欠任期は、前任者の残任期間とする。

5 代議員は、運営委員を兼務することができない。

(会議)

第12条 本会の会議は、総会、運営委員会とする。

(総会)

第13条 総会は、代議員をもって構成する最高の議決機関であり、本規約に定める事項のほか、本会の目的を達成するために必要な事項を審議、決定する。

2 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長が招集する。

3 通常総会は、毎年度1回開催し、臨時総会は、会長が必要と認めるとき、又は、代議員の3分の1以上の請求があった場合に開催するものとする。

4 総会の議長は、出席代議員のうちから選出する。

5 総会は、代議員の2分の1以上の出席により成立するものとする。

6 総会の議事は、出席者の過半数で議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 総会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 地域まちづくり計画の策定及び変更に関すること。
- (2) 規約の制定及び改正に関すること。
- (3) 会長、副会長、監事の承認に関すること。
- (4) 事業計画、事業報告、予算及び決算に関すること。
- (5) その他、重要事項に関すること。

(総会の議事録)

第14条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 出席者数
- (3) 開催目的、審議事項及び議決事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録は、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名押印し、事務所に備え付けておかなければならない。

(運営委員会)

第15条 運営委員会は、会長、副会長及び運営委員をもって構成する。

- 2 運営委員会は、総会に付議する事項及び本会の運営に関することを審議、決定する。
- 3 運営委員会は、会長が招集する。
- 4 運営委員会の議長は、会長がこれにあたる。
- 5 運営委員会は、運営委員の2分の1以上の出席により成立するものとする。

(事務局)

第16条 本会の円滑な運営及び事業実施に資するため、事務局を置く。

- 2 事務局には事務局員を置き、地域振興課自治振興室職員を充てる。
- 3 事務局員は、本会の事務及び会計事務を処理する。

(会計)

第17条 本会の運営等に係る経費は、地域まちづくり交付金、その他収入をもって充てる。

- 2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 3 年度開始後に予算が総会において議決されていない場合、会長は総会において予算が議決される日までの間は、前年度の予算を基準にして収支をすることができる。

(事業計画及び収支予算)

第18条 本会の事業計画及び収支予算は、運営委員会の承認を得た後、総会の議決を得なければならない。

(監査)

第19条 会長は、事業年度終了後、事業報告書、収支決算書及び積立金台帳を作成して監事に提出し、その監査を受けなければならない。

- 2 監事は、前項の書類を受領したときは、これを監査し、監査報告書を作成して会長に報告するとともに、会長はその監査報告書を総会に提出しなければならない。

(書類及び帳簿の備付け)

第20条 本会の主たる事務所には、本会の事業実施に係る書類、収入及び支出に関する証拠書類並びに帳簿等活動に関する全ての書類を備え付け、公開するものとする。

(個人情報保護の取扱い)

第21条 本会が、各種取組みを推進するため必要とする個人情報の取得、利用、提供及び管理については、適正に運用するものとする。

(その他)

第22条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が運営委員会に諮り、別に定める。

附 則

この規約は、平成24年3月13日から施行する。

改正後の規約は、平成25年4月12日から施行する。

(別表) (第10条、第11条関係)

集 落	定 数
松 沢	2名
小岩内	2名
川 部	2名
湯ノ沢	2名
葛籠山	2名
平 林	2名
宿 田	2名

ただし、年齢、性別等を考慮することとする。

平林地域まちづくり協議会

村上市神林支所地域振興課内

〒959-3492

村上市岩船駅前 56 番地

電話、告知端末：0254-66-6122

FAX：0254-66-6110

[https://www.facebook.com/](https://www.facebook.com/hirabayashichiiki/)

hirabayashichiiki/